

増建土発第 10-52 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

増穂町長 志 村 学



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け、国道企第 37 号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答します。

400-0592

山梨県南巨摩郡増穂町天神中条 1134

増穂町役場 建設課 一般土木担当

TEL：0556-22-7203 FAX：0556-22-3177

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県 増穂町

道路は、人々の日常生活を支えるばかりではなく、経済・産業・文化活動を推進していくうえで重要な施設であり、豊かな地域づくりに欠かすことのできない最も基本的な社会資本であります。

地方においては、人や物の移動の多くを自動車交通に頼らざるをえないのが現状であり、その整備を望む住民の声は非常に強い中、道路整備は依然として立ち遅れ、生活の豊かさやゆとりを実感し、活発な地域づくりを進めるためにも道路整備は重要な課題となっております。

さらに、高齢化、少子化が進展している中、地域間格差の解消を図り、防災対策、救急体制、通学路の整備などの安全対策を講ずる上でも、高規格幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備が急がれています。

本町におきましては、中部横断自動車道・国道・県道及び都市計画道路をはじめとする主要幹線道路の整備推進は、住民の安全・安心な日常生活や地域連携を密にするための基盤施設として一層重要性を増してきています。

このような中、国においては、道路特定財源の一般財源化を閣議決定したところですが、地方の道路整備は遅れているのが現実であり、国、地方を通じて極めて厳しい財政状況ではありますが、道路整備のための安定的財源の確保により、地域経済・産業・文化の強化、安全安心の確保、生活環境の向上など、活力ある地域づくり都市づくりを推進するとともに地方の道路整備の重要性を十分認識し、積極的な道路行政に取り組んでいただきたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

山梨県 増穂町

○現状

- ・本町は山林、農地、住宅地、商業・工業集積地と区分されており、都市化の進展とともに宅地化が進んでいます。
- ・東部地域においては、中部横断自動車道の開通、増穂インターチェンジ開設に伴う周辺整備が行われており、南北に通る国道と都市計画道路を幹線道路として、国道に接続する東西方面の県道に接続する町道から構成されています。
- ・町の中心にはあおやぎ宿追分館や活性館が整備され、その周辺に立地する個性的な店舗、ギャラリーなどと一体となって市街地観光の拠点となりつつあります。また、山間丘陵地が県立南アルプス巨摩自然公園に指定されるなど自然豊かな町であり、この資源を活用した観光拠点づくりに努めており、多くの観光客が訪れるようになりました。しかし、観光地までの道路整備は依然立ち遅れています。
- ・一方、既存道路やトンネル、橋梁が老朽化しており、修繕対策は急務であり、維持管理費に膨大な費用がかかります。
- ・近年様々な自然災害、人的災害が発生し、また、東海地震の切迫性が指摘されている昨今、災害発生直後に迅速・確実に対応するためには、災害に強い基盤施設が必要不可欠です。
- ・このような中、緊急かつ計画的に道路整備を進めてきましたが、未だその状況は質・量ともに十分であるとは言えないのが現状です。

○課題

- ・町の各種計画で、重要な位置を占めている中部横断自動車道の増穂以南の早期完成が求められています。これに伴い本町道路網充実に向けた検討が必要であり、増穂インターチェンジ周辺整備との整合を図りつつ、都市計画道路や町道網の整備を進め、交通体系のネットワークを形成する必要があります。
- ・高規格幹線道路から生活道路までの道路ネットワークの整備により広域圏からのアクセスが容易になり、新しい観光資源の創出も含めた観光拠点の整備を行い個性ある観光イメージを擁立することで観光客の誘致を図り、町の活性化に資する必要があります。また、関連市町村と連携を図ったうえで、広域的な周遊型観光ルートの形成が期待されます。
- ・高齢化社会に対応した、歩道の整備・バリアフリー化、交差点の通行の安全確保や通学路の整備が必要です。
- ・防災対策・災害に強い道路整備、救急体制・医療施設までのアクセス整備が求められます。
- ・交通基盤の整備は社会活動を支える基盤として、また地域間交流（人・物）を活発化していくうえで、重要な課題です。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

山梨県 増穂町

交流を盛んにする交通体系

- ・ 中部横断自動車道が完成することにより、広域圏からのアクセスがよくなり、人・物の移動が盛んになり地域が活性化する。
- ・ 国道、県道、町道など高齢化社会に対応した歩道の整備により歩行者にとっての安全性が向上する。
- ・ 道路網が整備されたことにより、地域住民の生活利便性や居住環境の質が向上する。
- ・ 交通アクセスがよくなり、新たな観光ルートの開発が期待される。
- ・ 災害に強い基盤整備や防災体制の整備強化を行い、住民の安全で安心な暮らしを守る。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

山梨県 増穂町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・地域活力の向上	・国道52号歩道整備（バリアフリー化） ・甲西道路の開通	・高齢者の転倒防止や通学路の安全が確保された ・町の中心市街地を縦断する旧国道52号の交通量が減り、歩行者の安全性が確保され、買い物をしやすくなるなど、商店街の活性化につながる。 ・沿線の地域では、住環境が向上し定住化が進み人口が増加する。	- 交通事故の減少 - 混雑緩和、安全な走行環境が創出